

「ウッドデザイン賞2023」表彰式・受賞作品展示・受賞記念セミナーを開催

- 「ウッドデザイン賞2023」では11月9日に、最優秀賞として「農林水産大臣賞」「経済産業大臣賞」「国土交通大臣賞」「環境大臣賞」、大阪・関西万博特別賞として「国際博覧会担当大臣賞」、優秀賞として「林野庁長官賞」、奨励賞として「審査委員長賞」など、31点を上位賞として発表しました。
- 12月6～8日（水～金）に開催されるSDGs Week EXPO2023「エコプロ2023」（於：東京ビッグサイト 東ホール）において、本年度の238点の「ウッドデザイン賞」受賞作品展示（東5ホール）12月6日（水）午前には上位賞の「表彰式」、午後には「受賞記念セミナー」（東4ホール）を開催いたします。



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2023

12月1日（金）

2023-12
PRESS RELEASE

一般社団法人 日本ウッドデザイン協会

- 「ウッドデザイン賞」は、木を使って様々な社会課題を解決する、優れたモノ・コトを表彰、発信する顕彰制度です。
- 「ウッドデザイン賞2023」には、前年を越える355点の応募を受け付け、10月6日には受賞作品238点を発表しました。
- さらに 11月9日には「木の活用による社会課題の複合的な解決をもたらす、イノベーション・新産業創出に寄与する作品」を「最優秀賞」として「農林水産大臣賞」「経済産業大臣賞」「国土交通大臣賞」「環境大臣賞」を各1点（合計4点）、「日本の木の文化・木のデザインを海外へ発信するにふさわしい、宿泊・飲食・体験施設、及びプロダクト、活動等」を満たす優秀な作品に「大阪・関西万博 特別賞（国際博覧会担当大臣賞）」を3点、「優秀賞」として「林野庁長官賞」を9点、「奨励賞」として「審査委員長賞」を15点と、上位賞31点を発表しました。（詳細は「別紙1」をご参照下さい）
- 12月6～8日（水～金）に東京ビッグサイトで開催されるSDGs Week EXPO2023『エコプロ2023』の「森と木のSDGsゾーン」内で「受賞作品展示」を実施します。また、12月6日（水）午前には『エコプロ2023』の「特設ステージ」で上位賞の「表彰式」を、午後には「動き出す未来ステージ」で最優秀賞受賞者や審査委員が登壇する『受賞記念セミナー』（詳細は「別紙2」をご参照下さい）を開催します。

【1】「ウッドデザイン賞2023」表彰式

《日時》2023年12月6日（水） 9:40～11:00 ※例年より開始時間が前倒しとなっているため、お気を付けください。
《場所》「エコプロ2023」特設ステージ（「東京ビッグサイト」東6ホール、小間番号：「6-905」）
《内容》主催者挨拶、来賓祝辞、上位賞の賞状授与・記念撮影・受賞者コメント、審査委員長講評等

【2】「ウッドデザイン賞2023」受賞作品展示

《日時》2023年12月6～8日（水～金） 10:00～17:00
《場所》「エコプロ2023」森と木で拓くSDGsゾーン内「ウッドデザイン賞」ブース（「東京ビッグサイト」東5ホール、小間番号：「5-903」F-01）
《内容》「ウッドデザイン賞2023」受賞作品展示の他、審査委員のメッセージ映像の放映、日本ウッドデザイン協会ブース等を設置

【3】「ウッドデザイン賞2023」受賞記念セミナー

《日時》2023年12月6日（水） 15:00～17:00
《場所》「エコプロ2023」動き出す未来ステージ（「東京ビッグサイト」東4ホール、小間番号：「4-907」）
《内容》各セッションごとに、①受賞者プレゼンテーション、②審査委員とのディスカッションを行います。（詳細は、「別紙2」参照）
セッション1「農林水産大臣賞」、セッション2「経済産業大臣賞」、セッション3「国土交通大臣賞」、セッション4「環境大臣賞」
（審査委員：益田 文和氏（ウッドデザイン賞審査委員（プロダクト分野長））、鈴木 恵千代氏（ウッドデザイン賞審査委員（建築・空間分野長））

《取材登録》

- 「表彰式・受賞作品展示・記念シンポジウム」をご取材頂ける場合は、以下の登録事項を、申込先までご連絡ください。
【登録事項】①氏名、②所属組織、③役職、④媒体名、⑤使用機材、⑥連絡先（E-mail・電話番号）、⑦その他（※）
※審査委員・受賞者等への取材希望等がございましたら、併せてご連絡下さい。
【申込先】「ウッドデザイン賞」運営事務局（担当：高橋・木俣） E-mail：press2023@wooddesign.jp
- 「エコプロ2023」への入場の際して、プレス登録が必要となりますので、以下のページもご覧ください。
[「エコプロ2023」報道関係者向けページ]
<https://messe.nikkei.co.jp/press.html>

～「ウッドデザイン賞2023」実施概要～

- 名称：ウッドデザイン賞2023
- 応募受付期間：2023年6月20日（火）～ 7月31日（月）
- 応募対象分野：建築・空間、技術・建材、プロダクト、コミュニケーション、調査・研究等、木に関するあらゆるモノ・コトが対象

■ 表彰部門

ライフスタイルデザイン部門～木を活かして質の高いライフ＆ワークスタイルを提案しているものが対象
ハートフルデザイン部門～木を活かして心身を健やかにしてWell-beingの実現が期待されるものが対象
ソーシャルデザイン部門～木を活かして森林・林業や地域・社会の持続性を向上させているものが対象

■ 賞の構成

最優秀賞／「農林水産大臣賞」「経済産業大臣賞」「国土交通大臣賞」「環境大臣賞」各1点
特別賞／大阪・関西万博特別賞（国際博覧会担当大臣賞） 数点 [2023年度は3点]
優秀賞／数点×3部門 [2023年度は3部門×3点＝9点]
奨励賞／数点×3部門 [2023年度は3部門×5点＝15点]
ウッドデザイン賞（入賞）／二次審査を通過したものすべて [2023年度は238点]



主催団体：一般社団法人日本ウッドデザイン協会



JWDA
もっと、木と

木を活用した社会課題の解決をめざす取り組みを「ウッドデザイン」と定義し、「ウッドデザイン」に関わるあらゆる分野において、調査、研究、開発、事業創造、普及及び啓発することを目的として設立された団体（一般社団法人）です。会員相互の連携並びにあらゆるステークホルダーとの対話及び協力によって、木のある豊かな暮らし、木材利用、森林・林業の成長産業化及び地方創生を推進して、カーボンニュートラルやSDGsへの貢献、持続可能な社会の実現を目指しています。

名称 一般社団法人 日本ウッドデザイン協会
英文名 Japan Wood Design Association（略称：JWDA）
設立 2021年11月18日
所在地 東京都港区新橋3-5-2 新橋OWKビル6階
会長 隈 研吾
会員 160（企業、団体、自治体等、2023年10月時点）

<https://www.jwda.or.jp/>

「ウッドデザイン賞」公式ウェブサイト ★最新情報を随時公開しています★

<https://www.wooddesign.jp/>



ACCESS

● 受賞作品に関するお問い合わせ先

「ウッドデザイン賞」応募受付担当 E-mail : info2023@wooddesign.jp

※ 電話でのお問い合わせは受け付けておりません

● 取材に関するお問い合わせ先

「ウッドデザイン賞」運営事務局（担当：高橋、木俣）

E-mail : press2023@wooddesign.jp

※ 受賞作品に関する取材をご希望される方は、上記へご連絡をお願いいたします。

最優秀賞（農林水産大臣賞） 1点

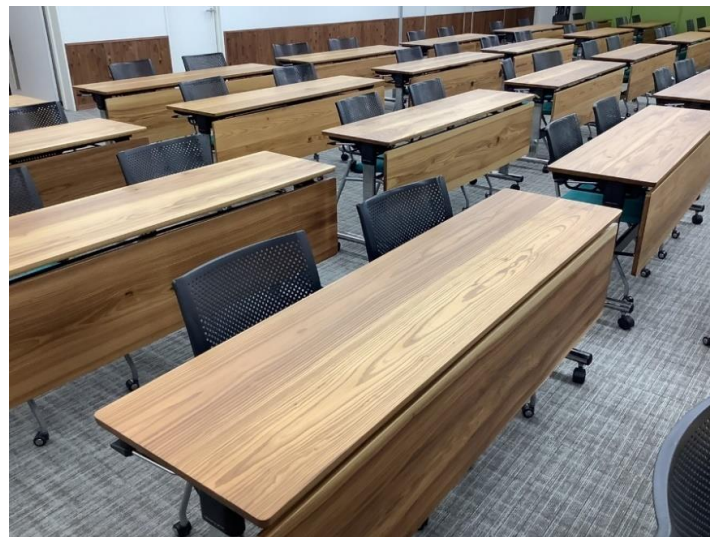


林業×福祉連携プロジェクト「森tebaco」

パワープレイス株式会社／社会福祉法人 幸仁会 川本園／NPO法人 木育・木づかいネット
コミュニケーション分野 ソーシャルデザイン部門

地域の林業、木材産業にも消費者の関心を向けるきっかけとなる作品を消費者の購買意欲をそそるクオリティ、優れたデザイン性で作り出した点を評価した。今後、同様の取り組みを進める他の授産施設にとってのビジネスモデル、施設経営の良質なモデルとなりえるものとして本賞に選出した。

最優秀賞（経済産業大臣賞） 1点



Gywood®テーブル用天板 ナイス株式会社

プロダクツ分野 ハートフルデザイン部門

針葉樹の無垢材の表層部のみを圧縮、高密度化する技術で硬度や強度を向上させる技術により、天板を取り換えるだけの簡易さで、オフィス、各種施設等でのデスク及び会議用テーブルの木質化を促進できる。木質化による炭素固定、杉の大径材の利用など社会課題の解決に資する複数の効果をもたらし、花粉症対策としての杉の需要拡大にも寄与するものとして本賞に選出した。

最優秀賞（国土交通大臣賞） 1点



北海道地区FMセンター

株式会社 竹中工務店／西條産業株式会社／ようてい森林組合／株式会社ハルキ／協同組合オホーツクウッドピア

建築・空間分野 ソーシャルデザイン部門

郊外に新築される中低層オフィス・店舗等を主なターゲットとした、非住宅木造のプロトタイプを目指した各種の工法、技術開発に取り組んでいるとともに、亜寒帯気候地域における脱炭素化促進とワーカーにとってのウェルビーイングの向上の両立を企図している。道内の森林資源の活用促進を後押しし、非住宅分野の木造化、森林と都市のつながりが期待できるものとして、本賞に選出した。

最優秀賞（環境大臣賞） 1点



森の麓の拠点「さとのえ」の取り組み 株式会社サカモト

建築・空間分野 ソーシャルデザイン部門

都市生活を営みながら持続可能な暮らしを志向する、主に子育て世代をターゲットにして、モデルハウスを拠点として森林散策ツアーや森に親しむワークショップ等を地域の団体と連携しながら開催して、木と森への理解醸成に寄与している。建築においてもフィールドワークや調査結果を反映した設計を行い、地域産材にこだわり地域の職人が施工、環境負荷低減、地域の産業活性化を満たす内容として本賞に選出した。

大阪・関西万博 特別賞（国際博覧会担当大臣賞） 3点



FARM FRONT seki_noen 有限会社米山工務店

建築・空間分野 ソーシャルデザイン部門

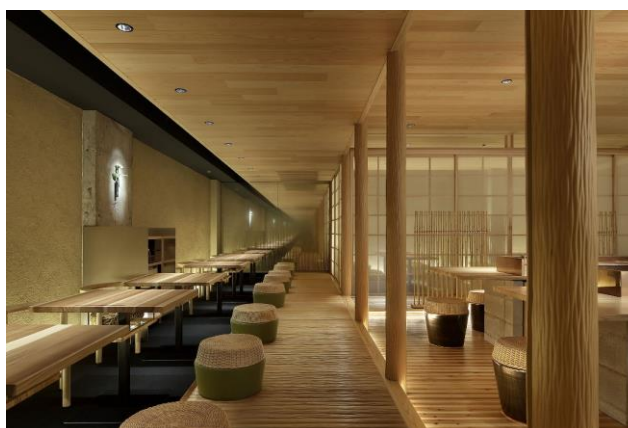
南魚沼地域の地場産杉を外壁材として使用し、杉の美しさ・耐久性・地域貢献の全ての点で優れた素材であることを周知したいという設計の思いがある。米どころで有名な同地域は豊かな森林が生み出す、質の高い水が大きく関係していることを海外を含めた来場者へ訴求することができる。



蒜山そばの館 株式会社STUDIO YY／岡山県真庭市

建築・空間分野 ソーシャルデザイン部門

伝統的な入母屋造りを、市の産業であるCLTを使って実現し、伝統と産業、現代技術を繋ぐ場としている。そば打ちの場が見えたり、暖簾や木組みなどの市内の工芸品も建築に取り入れるなどしており、地域の風土、文化、資源を感じさせる秀逸な空間である点が本賞にふさわしいと考える。



ごはんや一芯 京都店 株式会社ムーンバランス

建築・空間分野 ソーシャルデザイン部門

伝統建築が少なくなった現在ではなかなか使われなくなった磨き丸太の新しい利用方法を提案し、余すことなく転用することで、北山杉の新たな活用方法を見出し、京都府産の木材利用の推進を図っている。日本の伝統的な茶室等にも活用される北山杉と日本の米文化の発信との融合で海外観光客にも訴求度が高い。

優秀賞（林野庁長官賞）

● ライフスタイルデザイン部門 3点



ジューテック本社ビル
鹿島建設株式会社／株式会社ジューテック／
住友林業株式会社
建築・空間分野

凹型の敷地形状を活かし、エリアごとに木質構造の課題解決に向けた取組を採用した新規性ある建築である。木質感が溢れる外観、木造エリアのエントランスホールなど街に開かれた顔を持ちつつ、執務室や交流空間は、内装木質化が優しくワーカーや来訪者をもてなしている点も良い。



なないろこまち
株式会社黒田潤三アトリエ／医療法人社団清虹会／
株式会社東武建設
建築・空間分野

戸建て住宅が並ぶ「街」を想起させる、コミュニティ機能を持つクリニックである。既存の医療空間にありがちな無機質な空間ではなく、木材を多用し居心地のよい空間を実現しており、医療や育児、街の交流拠点として人をひきつける魅力がある。子どもを産み育てる地域の人々によるコミュニティでありたいという思いが伝わる建築である。



フラン リビング
株式会社カンディハウス
プロダクツ分野

現代のワークスタイルに適応するよう、視線を遮りながら作業に集中できる構造、木質感溢れる洗練された意匠が印象的な椅子である。デザインコンペをきっかけとして生まれた作品であり、木材の洗練された使い方とワーカーのユーザビリティの両立を目指した秀逸なデザインである点を評価した。

優秀賞（林野庁長官賞）

● ハートフルデザイン部門 3点



サイクリングロード
“旭川・りんくるライン”
株式会社ofa／真庭市／株式会社タブチ／株
式会社松岡建設／株式会社MID研究所／
SASA ATORIE
建築・空間分野

川沿いに点在する休憩場所やサインのデザインを統一し、エリア全体で木材に触れ、安らぐ時間を提供している点が良い。サイクリングの開放感と地域の自然、景観を堪能するにふさわしい体験装置としての環境デザインと言える。



北こぶし知床ホテル&リゾート
UNEUNA／KAKUUNA
株式会社アーティストリー／株式会社知床
グランドホテル／TTNE株式会社／株式会社
河面組
建築・空間分野

昨今のサウナブームにより各所に増えているサウナだが、一般的には羽目板の壁など空間が均一化しがちである。本作品は空間全体で木に包まれているような感覚になる優れた意匠性を持つ希少なサウナである。立地の良さと相まって、五感で感じるサウナ空間となっている点を高く評価した。



セーザイゲーム
熊野林星会
コミュニケーション分野

普段はなかなか体験できない製材所の仕事を疑似体験できるゲームキットであるが、内容は本格的なものだ。特に製材の結果と利益の関連などの実業面に配慮している点は重要である。初心者にもわかりやすいカードのデザインの工夫など、作り手の思いが込められた作品である。

優秀賞（林野庁長官賞）

●ソーシャルデザイン部門 3点



選手村ビレッジプラザ
株式会社日建設計
建築・空間分野

伝統的な建築を想起させる空間づくりが、各国から訪れる選手や関係者へ向けて日本の木の使い方や技、空間の味わいの素晴らしさを発信している。組立解体を前提とした設計、構造と細部に至る各地域の木材の使い方など、日本の木材文化のショールーム的な役割を担う素晴らしい取組である。



東海大学阿蘇くまもと臨空キャンパス食品加工教育実習棟
株式会社石本建築事務所／東海大学／三井住友建設株式会社／山佐木材株式会社
建築・空間分野

くり抜いたCLTの意匠が建築全体にインパクトを与えており、CLTという建材を主役に見立てた独創的な取組である。芝生広場や半屋外空間は開放的で心地よい居場所となっている。普段、あまり建材を意識することのない来訪者や利用者にもCLTの可能性をアピールできる点が良い。



やまなしSDGsプロジェクト
「moritomirai（モリトミライ）」
山梨日日新聞社
コミュニケーション分野

森林への無関心や資源循環の必要性が十分に理解されていない点に問題意識を持ち。新聞というメディアとコミュニケーションツールを組み合わせ、良質な啓発活動である。林産地域のみならず、都市部でも展開可能なメディアミックス型のコミュニケーションとして高く評価した。

奨励賞（審査委員長賞）

●ライフスタイルデザイン部門 5点



VARABOARD
株式会社山崎商事／株式会社エスウッド
技術・建材分野

突板の薄さを活かしながら、樹種ごとの特徴、質感を活かした化粧ボードであり、空間のテイストに合わせて様々な用途での活用が見込める製品。



SUWARI
飛騨産業株式会社
プロダクツ分野

和の空間にもマッチする洗練されたデザインの椅子である。強さと軽さの両立、畳を始めとした床への負担を抑える工夫など随所に工夫が凝らされている。



SHA/SHA
中井産業株式会社
プロダクツ分野

木組みの格子の意匠が特徴的な新しいインテリアの提案である。室内を彩る細やかな細工があり、隠すという概念に着目した点に新規性がある。



tastywood ～JAPANESE JUNIPER～
有限会社一場木工所／株式会社レオンハルト／蒸留ラボ Laboratory Pnacea／込山 宏美／青水里山の会／アートの小箱
プロダクツ分野

ネズミサシという森林資源の活用を目指したプロダクトであるが、マドラーとしてかき混ぜると味がまろやかになるユニークな作品。山への還元と五感への訴求を両立した。



shell × shelf
株式会社阿部蔵／森庄銘木産業株式会社
プロダクツ分野

美しい意匠がインパクトを与えるシェルフ。山の稜線をイメージした形状で見る角度によって表情が異なる。素材の美しさを活かした五感で楽しむ家具として評価した。

奨励賞（審査委員長賞）

●ハートフルデザイン部門 5点



Entô

株式会社海士／株式会社マウントフジアー
キテクツスタジオ級建築士事務所／株式
会社日本デザインセンター／株式会社中東
／前田建設工業株式会社／株式会社鴻池組
建築・空間分野

CLT工法の採用により、建築が容易でない離島でも木質感溢れる空間の建設を可能とした。隠岐ユネスコ世界ジオパークの宿泊施設で、壁一面の窓から素晴らしい風景が堪能できる。



上智大学四谷キャンパス15号館
住友林業株式会社／学校法人上智学院
建築・空間分野

都市の中で森をほうふつとさせる外観が直感的に環境保全や森林資源の循環を伝えるアイコンとなる。空間内にも随所に木を感じられる設えがあり、心地よい。



PRADA MODE TOKYOの仮設パビリオン
西沢立衛建築設計事務所／Arup／有限会社工藤工務店／株式会社シェルター／日南鉄構株式会社
建築・空間分野

木材の正三角形を曲面で構成された空間が周囲の環境と溶け込み、自然物のようなイメージを与える。仮設建築物として、木材のデザインの可能性を見える化したチャレンジングな作品である。



木の冷蔵庫
カネモク工業株式会社
プロダクツ分野

冷蔵庫の外装を木製にすることで見た目のインパクトに加え、断熱性能の向上にも貢献している、木質化空間に置かれるだけで温かみのあるどこか懐かしい冷蔵庫になる。



フォレストジン 草木酒
合同会社山伏
プロダクツ分野

木を味わう体験はなかなかないが、本作品は原材料にスギ、ヒノキ、ナラの間伐材を使用し、ボタニカルにも国産野生香木を使ったユニークなものだ。新たな領域の開拓という点に共感する。

奨励賞（審査委員長賞）

●ソーシャルデザイン部門 5点



徳島県新浜町団地県営住宅2号棟
徳島県
建築・空間分野

あらかわしの木造4階建準耐火構造として建設された県営住宅であり、今後期待される中規模木造建築物の先導的な取組である。在来軸組と910mmモジュールの活用も汎用的な展開にメリットがある。



MIデッキ
MEC Industry株式会社
技術・建材分野

RC造やS造で使われる建材の一部を木に置き換えた獨創性ある建材。型枠材兼仕上材として使うことでコスト面や意匠面でも効果をもたらし、炭素固定のメリットも併せ持っている。



ハニカムダンネージ
日新林業株式会社／島根合板株式会社／株式会社名南製作所
プロダクツ分野

重量のある資材の下に敷くダンネージに木材を利用、量を使えらるとともに現場の負担を軽減した。波状に切削した単板をハニカム構造に張り合わせ強度が確保した技術と発想が光る。

奨励賞（審査委員長賞）

●ソーシャルデザイン部門（続き）



内子龍王バイオマス発電所
株式会社内子龍王バイオマスエネルギー／有限会社内藤鋼業／株式会社竹中工務店／株式会社サイプレス・スナダヤ／三洋貿易株式会社／大日本ダイヤコンサルタント株式会社
コミュニケーション分野

木造の木質バイオマス熱電併給施設で、地域との共生を体現する建築でありつつ、約3,600トンの間伐材利用と森林整備の促進など、地域の森林資源活用プロジェクトのシンボリックな存在になっている。



一間社流造本殿
伝統文化と環境福祉の専門学校
コミュニケーション分野

佐渡市の専門学校生の3年生が卒業制作として地域の間伐材を使って小型の社殿建築に取り組んだ。地域の資源、技、伝統をつなぐ人材育成の良質なモデルとして評価した。



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2023

SDGs Week EXPO 2023 **エコプロ2023** 同時開催行事

別紙 2

「ウッドデザイン賞2023」受賞記念セミナー 開催のご案内

最優秀賞／農林水産大臣賞
林業×福祉連携プロジェクト「森tebaco」



最優秀賞／経済産業大臣賞 Gywood®テーブル用天板



最優秀賞／国土交通大臣賞 北海道地区FMセンター



最優秀賞／環境大臣賞 森の麓の拠点「さとのえ」の取り組み



- 「ウッドデザイン賞」は、木を使って様々な社会課題を解決する、優れたモノ・コトを表彰、発信する顕彰制度です。
- 木の活用による社会課題の複合的な解決をもたらし、イノベーション・新産業創出に寄与する作品について、最優秀賞として「農林水産大臣賞」「経済産業大臣賞」「国土交通大臣賞」「環境大臣賞」、大阪・関西万博特別賞として「国際博覧会担当大臣賞」、優秀賞として「林野庁長官賞」、奨励賞として「審査委員長賞」を表彰しています。
- 本年度「ウッドデザイン賞2023」を受賞した238作品の「受賞作品展示」は、2023年12月6～8日(水～金)に「東京ビッグサイト」で行われるSDGs Week EXPO2023「エコプロ2023」で行われます。
- さらに、12月6日(水) 9:40～11:00には、「エコプロ2023」特設ステージで、上位賞の「表彰式」を行い、同日午後には、4つの大臣賞の受賞者プレゼンテーションや審査委員とのディスカッションを行う「受賞記念セミナー」を開催します。

セミナー開催概要

【日 程】2023年12月6日(水) 15:00～17:00

【場 所】エコプロ2023「動き出す未来ステージ」
(「東京ビッグサイト」東4ホール)

【定 員】80名(定員になり次第、締め切ります)

【参加費】無料

【申 込】以下のフォームからお申込み下さい。

<https://forms.gle/GSpQtfxgfaHBEG65A>

- SDGs Week EXPO2023「エコプロ2023」内で開催しますので、予め入場登録を頂くことをお勧めします。
【エコプロ2023サイト】<https://messe.nikkei.co.jp/ep/>

プログラム

《セッションⅠ：最優秀賞「農林水産大臣賞」》

- ▷ 『林業×福祉連携プロジェクト「森tebaco」』
(NPO)木育・木づかいネット、パワープレイス(株)

《セッションⅡ：最優秀賞「経済産業大臣賞」》

- ▷ 『Gywood®テーブル用天板』(ナイス(株))

《セッションⅢ：最優秀賞「国土交通大臣賞」》

- ▷ 『北海道地区FMセンター』(株)竹中工務店

《セッションⅣ：最優秀賞「環境大臣賞」》

- ▷ 『森の麓の拠点「さとのえ」の取り組み』
(株)サカモト、(株)ビオフォルム環境デザイン室

《総括コメント》益田 文和氏 (プロダクトデザイナー)
鈴木 恵千代氏 (空間デザイナー)

「ウッドデザイン賞2023」審査委員 登壇者



【セッションⅠ・Ⅱ／総括コメント】

〈登壇〉

益田 文和 (ますだ・ふみかず)
プロダクト分野 審査委員 (分野長)
プロダクトデザイナー、(株)オープンハウス 代表



【セッションⅢ・Ⅳ／総括コメント】

〈登壇〉

鈴木 恵千代 (すずき・しげちよ)
建築・空間分野 審査委員 (分野長)
空間デザイナー、(一社)日本空間デザイン協会 理事

【主催】一般社団法人 日本ウッドデザイン協会